

# Cisco 1800 シリーズ ルータ (モジュール型) 内蔵モジュールの取り付けおよびアップグ レード

Installing and Upgrading Internal Modules in Cisco 1800 Series Routers (Modular)

#### OL-5885-01-J

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety\_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。 米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、 正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。 また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、 弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、Cisco 1800 シリーズ統合サービス ルータ(モジュール型)の内蔵モジュール(メモリ モジュールと Advanced Integration Module(AIM))を取り付ける方法およびアップグレード方法について説明します。これらのモジュールの着脱を行うには、ルータのカバーを取り外す必要があります。このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- 「安全上の警告」(P.2)
- 「Cisco 1841 ルータの内蔵モジュール」(P.2)



(注)

本書に記載された警告文の翻訳については、ルータに付属している『Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1840 Routers』を参照してください。



# 安全上の警告

<u>森</u>

オン/オフスイッチのあるシステムを扱う場合は、事前に電源をオフにして、電源コードを外してください。ステートメント 1

警告

電源に接続されている装置を扱う場合は、事前に指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外しておいてください。これらの金属が電源やアースに接触すると、金属が過熱して大やけどをしたり、金属類が端子に焼き付くことがあります。ステートメント 43

<u>森</u> 警告

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リスト ストラップを着用してください。 感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。ス テートメント 94

<u>森</u> 警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001

<u>A</u> 警告

インストレーション手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004

<u>森</u> 警告

ルータの電源がオフであるかオンであるかにかかわらず、WAN ポートには危険なネットワーク電圧がかかっています。感電事故を防ぐため、WAN ポート付近で作業する場合は十分に注意してください。ケーブルを取り外す場合は、ルータ側から先にケーブルを外してください。ステートメント1026

# Cisco 1841 ルータの内蔵モジュール

ここでは、Cisco 1841 ルータに Small Outline Dual In-Line Memory Module (SODIMM) および AIM を取り付ける方法について説明します。具体的な内容は、次のとおりです。

- 「シャーシの開け方」(P.3)
- 「モジュールの位置」(P.4)
- 「SODIMM の取り付け」(P.5)
- 「AIM の取り付け」(P.7)
- 「シャーシの閉め方」(P.11)

このセクションのすべてのモジュール交換作業で、シャーシ カバーを取り外す必要があります。モジュール交換作業を行う前に、電源を切断し、「シャーシの開け方」(P.3) の説明に従ってカバーを取り外してください。モジュール交換作業の完了後は、「シャーシの閉め方」(P.11) の説明に従って、シャーシ カバーを取り付けます。

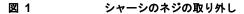
## シャーシの開け方

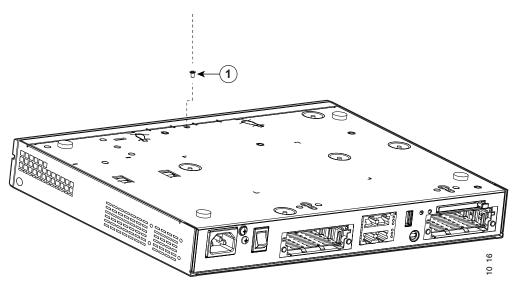
シャーシを開ける手順は、次のとおりです。No.1 のプラス ドライバが必要です。

ステップ1 ルータの電源がオフになっていて、AC電源とつながっていないことを確認します。

ステップ2 ルータをひっくり返して、ルータの天井を平らな面に寝かせます。

**ステップ3** プラス ドライバを使用して、シャーシの上下を結合しているネジを取り外します。図 1を参照してください。

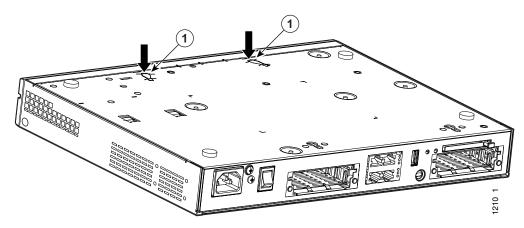




1 ルータのカバーを固定しているネジ

**ステップ4** マイナス ドライバを切り欠きの位置でスロットに差し込んで、 $90^{\circ}$  回転させてシャーシから上部カバーを外します。図 2 を参照してください。

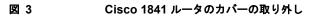
図 2 ドライバを梃子にする位置

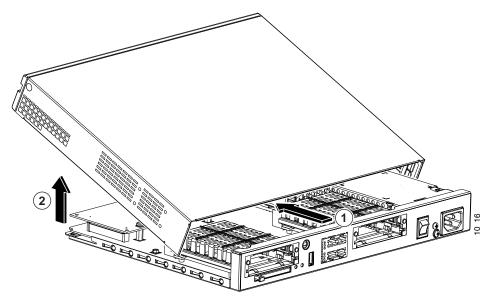


1	ドライバの切り欠き位置	
•		

ステップ5 ルータを元の位置(天井が上)に戻します。

**ステップ6** ルータの天井を手前に静かに引き、平らな面に置いたルータの底面から持ち上げるようにして外します。図 3を参照してください。





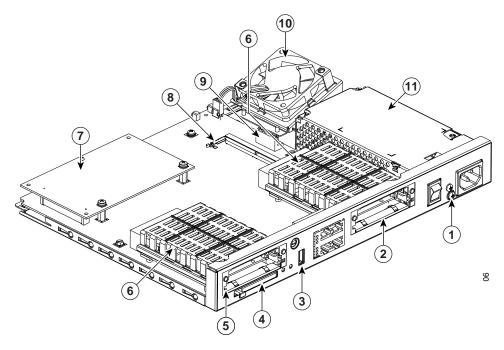
1		カバーを回すようにしてルータ シャーシから
		外す

ステップ7 静電気防止用マットにルータ下部を置き、メモリの取り付け作業を開始します。

## モジュールの位置

図 4 に、Cisco 1841 のマザーボードにおける SODIMM または AIM 用コネクタの位置を示します。

#### 図 4 Cisco 1841 の内部



1	アースネジ	7	AIMモジュール
2	インターフェイス カード スロット 0	8	SODIMM ソケット
3	USB ポート	9	電源接続
4	CompactFlash メモリ カード スロット	10	システム ファン
5	インターフェイス カード スロット 1	11	電源装置
6	WIC/HWIC スロットおよびコネクタの保護 シールド		



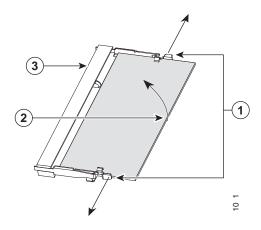
どのような状況であっても、WIC/HWIC スロットとコネクタを保護している保護シールドを改変したり取り外したりしないでください。

## SODIMM の取り付け

SODIMM を取り付けると、ルータの DRAM 容量を拡張できます。 ルータのマザーボードに SODIMM を取り付ける手順は、次のとおりです。

- ステップ1 マザーボードで SODIMM ソケットの位置を確認します。
- ステップ2 既存の SODIMM がある場合は、ソケットの端にあるバネ仕掛けのクリップを SODIMM が外れるまで静かに引き、SODIMM を静かに引き上げてソケットから取り外します。図 5を参照してください。

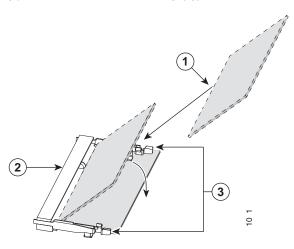
図 5 SODIMM の取り外し



1	バネ仕掛けのクリップ	2	SODIMM

ステップ 3 図 6を参照し、SODIMM ソケットに SODIMM を差し込みます。

図 6 SODIMM の取り付け



1	SODIMM	2	ソケットに差し込んで回転させる

**ステップ4** ソケット上のバネ仕掛けのクリップがカチリと音をたてて SODIMM の端にはまるまで、SODIMM を ソケットにしっかりと押し入れます。

### AIM の取り付け

Cisco 1841 ルータは、AIM モジュールを 1 つサポートできます。AIM を取り付ける手順は、次のとおりです。



AIM を取り付けるときには、必ず静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。リストストラップの装置側は、シャーシの金属部分に固定します。



注意

AIM を扱う場合は、必ず端を持ってください。 AIM は静電気の影響を受けやすいコンポーネントなので、扱いを誤ると故障する可能性があります。

### 使用するアクセサリ キット

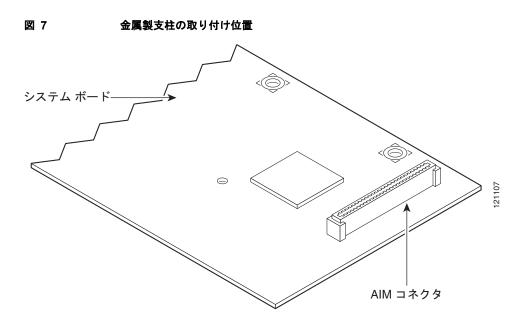
AIMによっては複数のアクセサリキットが付属しており、それぞれ異なる構成の取り付け金具が収められています。Cisco 1841 ルータ用の取り付け金具は、ネジを切った金属製の支柱×2、金属製の小ネジ×2、およびプラスチック製の支柱×1です。

Cisco 1841 ルータに AIM モジュールを取り付けるには、マウント キット 69-1316-01 に含まれている 金具を使用します。

#### 取り付け手順

AIM を取り付ける手順は、次のとおりです。この作業には、No. 2 プラス ドライバまたはマイナス ドライバが必要です。

**ステップ 1** システム ボード上の AIM コネクタの近くにある、星形をした金属製支柱の取り付け位置を確認します。図 7を参照してください。



ステップ 2 アクセサリ キットから金属製の支柱を 2 つ取り出して、システム ボードの金属製支柱取り付け位置に 取り付けます。図 9を参照してください。1/4 インチのナット ドライバを使用して支柱を締めます。 AIM 支柱の位置は、支柱取り付け穴を囲む星形によって示されています。



注意

支柱をまっすぐ取り付けるようにしてください。徐々にしっかり締めます。ショルダーをシステムボードにきちんと固定してください。

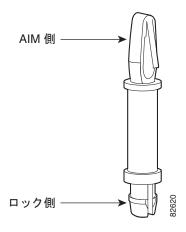
**ステップ 3** アクセサリ キットからプラスチック製の支柱(図 8)を取り出し、システム ボードの穴に差し込みます。図 9を参照してください。支柱がボードに固定されるように、システム ボードにしっかり押し込みます。



(注)

プラスチック製の支柱はシステムボードにカチリとはまります。必ず、支柱のロック側をシステムボードに差し込んでください。支柱の短い方がロック側です。図 8に、AIMに使用するプラスチック製支柱のロック側を示します。

#### 図 8 プラスチック製支柱の向き

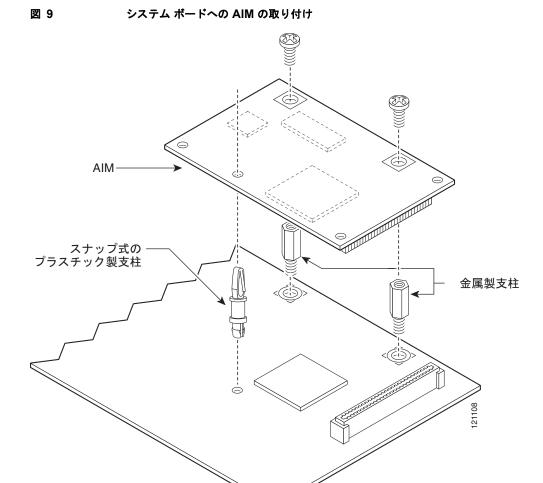


ステップ 4 AIM のコネクタをシステム ボードの AIM コネクタに差し込みます。図 9を参照してください。

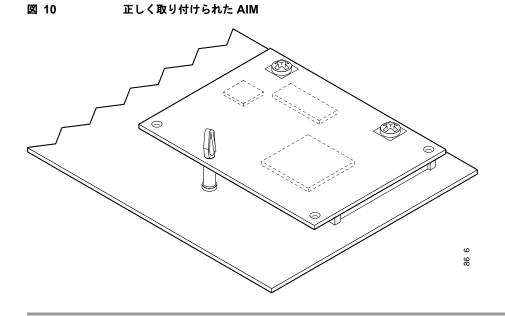


ボードがコネクタに固定されるまで、AIM をしっかり押しつけます。プラスチック製の支柱と AIM ボードの穴をしっかりかみ合わせます。 ②9を参照してください。

ステップ 5 アクセサリ キットからネジを取り出して AIM に通し、さらに金属製の支柱に差し込みます。図 9を参照してください。プラス ドライバを使用して、ネジを慎重に締めます。



ステップ 6 システム ボードに AIM が正しく取り付けられていることを確認します。図 10を参照してください。



### AIM ラベルの貼り付け

シャーシ用の AIM ラベルが AIM マウント キットに含まれている場合があります。 または AIM カードのラベルに貼り付けられていることもあります。 次の手順で、シャーシ ラベルを貼り付けてください。

- **ステップ 1** シャーシ ラベルが AIM カードのラベルに貼り付けられている場合は、ミシン目に沿ってシャーシ ラベルを丁寧にはがします。シャーシ ラベルが AIM マウント キットに含まれている場合は、キットの袋からラベルを取り出します。
- **ステップ 2** シャーシ ラベルの剥離紙をはがします。
- ステップ 3 シャーシ背面に適切なスペースがある場合は、そこにシャーシラベルを貼り付けます。シャーシ背面 に手頃なスペースがない場合は、上部カバーの背面の端にラベルを貼り付けます。シャーシを設置した ときにラベルが見えるようにしてください。



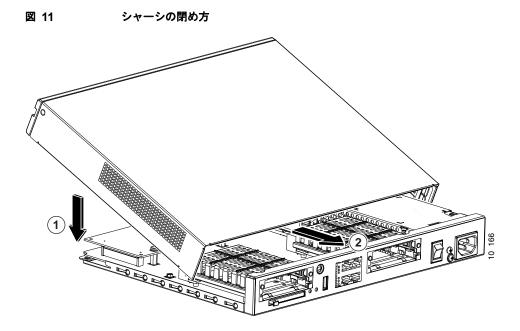
(注)

ブランク カバー プレート、着脱式のネットワーク モジュールまたはインターフェイス カード にはシャーシ用 AIM ラベルを貼らないでください。また、穴、ネジ、シャーシの排気口、既 存ラベルの上に貼り付けないでください。

## シャーシの閉め方

シャーシを閉める手順は、次のとおりです。

- **ステップ 1** シャーシに対してカバーをかぶせるようにして下ろします。カバーをスライドさせながら、シャーシの 底面にはめ込みます。図 11を参照してください。
- ステップ 2 しっかり押して閉じます。
- **ステップ 3** ルータを上下逆さまにします。
- **ステップ 4** プラス ドライバを使用してネジを元どおりに取り付け、シャーシにカバーを固定します。図 1を参照してください。



1 カバーをかぶせるようにルータに下ろす

カバーをスライドさせてルータ シャーシには め込む

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0601R)

Copyright  $\ @$  2004 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Copyright © 2004–2010, シスコシステムズ合同会社 . All rights reserved.